尾張都市計画地区計画の決定（一宮市決定）

名 称		一宮駅周辺地区地区計画			
位 置		一宮市栄1丁目、栄2丁目、栄3丁目、栄4丁目、音羽1丁目、大宮1丁目、本町1丁目、本町2丁目、本町3丁目、本町4丁目、松降1丁目、桜1丁目、大江1丁目、大江2丁目、大江3丁目、大志1丁目、新生1丁目、神山1丁目及び平和1丁目の各一部			
面 積		約24.3ha			
地区計画の目標		<p>当地区は、本市の都市拠点に位置し、市域内外から利用を想定する広域的な都市機能や、市街地の賑わいをもたらすために必要な都市機能が集積する地区である。</p> <p>2027年にリニア中央新幹線の開業が予定されており、名古屋駅と約10分で結ばれる一宮駅の周辺である当地区において、今後、さらに商業業務機能や都市型居住機能等の集積が見込まれる。</p> <p>そこで、本計画では、土地の合理的かつ健全な高度利用を促進し、商業業務機能の導入と高密度居住の実現を図ることにより、良好な市街地を形成することを目標とする。</p>			
区 域 及 び 保 全 の 整 備 開 発 方 針	土地利用の方針	商業業務機能や都市型居住機能等が集積された都市拠点にふさわしい、合理的かつ健全な高度利用を促進する。			
	建築物等の整備の方針	ペンシルビルを防止し、敷地の統合化及び土地の高度利用を誘導するため、「建築物の敷地面積に応じた、建築物の延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度」を定める。			
地 区 整 備 計 画	地区の区分	地区の名称	<table border="1"> <tr> <td>駅西地区</td> <td>駅東地区</td> </tr> </table>	駅西地区	駅東地区
		駅西地区	駅東地区		
	地区の面積	<table border="1"> <tr> <td>約2.4ha</td> <td>約21.9ha</td> </tr> </table>	約2.4ha	約21.9ha	
約2.4ha	約21.9ha				
建築物等に関する事項	建築物の容積率の最高限度	建築物の容積率の最高限度は、敷地面積が500㎡未満の建築物にあっては、10分の40とする。			